

(様式1)

## 自 己 評 価 表

(今治北高等学校)

学校番号(16)

教育方針	志を高く持ち、自ら学び考え行動する生徒の育成を目指す。	重点目標	1 将来、それぞれの場でリーダーシップを発揮できる生徒を育成する。 2 海外留学や研修により、国際的視野を持つ生徒を育成する。 3 自分のために、そして誰かのために頑張り抜く生徒を育成する。 4 勇気を出して、一歩踏み出せる生徒を育成する。
------	-----------------------------	------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学習指導	家庭学習の充実	1日平均の家庭学習について1・2年生は3時間以上、3年生は4時間以上を確保させる。	B	6月と11月の2回の調査の平均家庭学習時間は、1年生107分、普152分、2年生72分、普155分、3年生93分、普238分であった。3年普通科は目標達成まであと2分であった。	課題の量や与え方、部活動との両立、生活習慣の見直しなど、様々な観点で考えていく必要がある。
	学習習慣確立への支援	個別指導・サタディスクールによる学習習慣の確立への満足度90%以上を目指す。 A: 90%以上 B: 89~80% C: 79~75% D: 74~60% E: 59%以下	D	3年生に対しては、志望理由書や小論文の指導及び面接指導をホームルーム担任や教科担当を中心に全教員で分担して行ったが、1,2年生に対しては、特に普通科のサタディスクールは模試を除けば年間3回のみとなっており、学習習慣の確立までには至っていない。	生徒間の学力差や進路希望の多様化を踏まえ、画一的な全体指導とは別に、個別最適な学習機会の提供が必要である。
	朝読書の充実	朝読書を10分間とし、全校生徒で読破7千冊を目指すとともに言語活動の充実を図る。 A: 7,000冊以上 B: 6,999~5,000 C: 4,999~3,000 D: 2,999~1,000 E: 999以下	C	1月9日現在で、3629冊であった。欠席者を考慮しても、C評価である。前年度と冊数はあまり変わらないが、目標を見直したため、C評価となった。	調査日までの約9か月で一人6~7冊読めば、5000冊以上となる。10冊以上読んでいる生徒もいる。0冊~1冊という生徒の朝の読書を充実させる必要がある。
	規律ある生活習慣の確立	「遅刻ゼロの日」(開校日で0のつく日を設定)の達成回数を年間12回以上とする。 A: 12回以上 B: 11~10回 C: 9~8回 D: 7~6回 E: 5回以下	E	12月末現在、16回実施し、遅刻ゼロを達成できたのは5回であった。	今年度は全体的に遅刻生徒が多く、12月末現在、1日平均2.21人遅刻している現状である。また、特定の生徒が遅刻を繰り返しているため、基本的な生活習慣を確立させるとともに、個別に対応していく必要がある。
	規律ある生活習慣の確立	一か年皆勤者率を60%以上とする。 A: 60%以上 B: 59~55% C: 54~50% D: 49~45% E: 44%以下	E	2学期末の時点で、1年生36.6%、2年生32.6%、3年生33.9%、学校全体34.5%であった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長欠の生徒が年度当初から多い。個々に応じた対応を考えていく必要があるが、現実には困難である。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症が5類となり、5月から出席停止の取扱いが変更されたため、欠席者が増加した。</li> <li>・数年のコロナ期間が終わり、「無理をせず休む」という価値観の変化という面も考えられる。</li> </ul>

生活指導	交通安全指導の充実	交通死亡事故などの重大事故0件、軽微な交通事故年間5件以内とする。	C	12月末現在、重大事故は0件、軽微な事故は12件、交通違反による指導は9件であった。	重大事故0件は絶対に守らなければいけない数字であり、そのためには、交通法規違反やマナー違反の指導件数が減少するように指導を徹底し、限りなく交通事故0件を目指す。
	健康管理指導の充実	生徒の健康や安全に関する指導への満足度85%以上を目指す。 A: 85%以上 B: 84~80% C: 79~75% D: 74~70% E: 69%以下	B	昨年度は証明書の提出がなかったため数字としての比較はできないが、感染症の罹患者が昨年度に比べかなり増えてきている。	体調管理については、感染症対策や予防など自己管理ができるようにプリントだけでなく、機会を設けて個々に指導していく必要があると考える。
	環境美化指導の充実	清掃活動などを通じた環境美化への評価85%以上を目指す。 A: 85%以上 B: 84~80% C: 79~75% D: 74~70% E: 69%以下	C	清掃時間の取り組みに関しては、時間いっぱい熱心に行う者とそうでない者の差があるように見受けられた。評価においても76%という低い数字であった。	環境整備委員をリーダーとして、校内の環境美化や整備について具体的に考えさせて、意識を高く持たせたいと考える。
	教育相談の充実	生徒の悩みに対する適切な相談・助言及び、援助が必要な生徒に対する適切な支援体制を充実させ、生徒・保護者の安心感85%を目指す。 A: 85%以上 B: 84~80% C: 79~75% D: 74%~70% E: 69%以下	B	スクールライフアドバイザーへの生徒・保護者からの相談件数が延べ30件以上あり、来談者のうち80%以上が安心感を得ることができた。	教育相談担当教員やSLAの存在や教育相談室の利用方法について、教育相談だよりやホームページを活用して、生徒・保護者への周知を徹底し、自発来談しやすい環境作りをする。また、学年団との連携をとり、情報の共有をしていきたい。
	特別活動の充実	生徒会活動の活発化への満足度90%以上を目指す。 A: 90%以上 B: 89~85% C: 84~80% D: 79~75% E: 74以下	E	新型コロナウイルス感染症による行動制限が、数年間続き生徒にとっては、初体験の行事が多かったためスムーズな運営ができなかったように思う。	生徒会を中心として、以前の学校行事や新たな取り組みをしていきたい。適切な教師側の指導も必要である。
		学校行事の創意工夫による生徒の満足度90%以上を目指す。 A: 90%以上 B: 89~85% C: 84~80% D: 79~75% E: 74%以下	C	行動制限があった時期に比べ、再開できた行事も増えてきたため、まずまずの評価であった。	生徒会を中心として生徒の意見などを取り込み、学校行事を運営していきたい。
		ホームルーム活動の満足度90%以上を目指す。 A: 90%以上 B: 89~85% C: 84~80% D: 79~75% E: 74%以下	D	若干ではあるが保護者のアンケートの評価が下がっている。	ホームルームで、生徒が主体的に活動する場面を多くしていく必要があると感じる。
部活動の活性化	全ての部活動を充実させる。 全国大会出場部数、10部以上 A: 10部以上 B: 9~7部 C: 6~5部 D: 4~3部 E: 2部以下 県総体出場者数、250名以上 A: 250名以上 B: 249~245名 C: 244~240名 D: 239~235名 E: 234名以下 高文祭出場者数、80名以上を目指す。 A: 80名以上 B: 79~70名 C: 69~60名 D: 59~50名 E: 49名以下 部活動の満足度90%以上を目指す。 A: 90%以上 B: 89~85% C: 84~80% D: 79~75% E: 74%以下	B	具体的目標は、ほぼ達成することができた。学校評価アンケートにおいても93%の生徒が、部活動は活発であると答えている。	さらに高みを目指していきたい。また、数年間かけて部活動の精選が必要となってきている。精選し顧問の手厚い指導ができるようにしていきたい。	

進路指導	進学指導の充実	<p>国公立大学への合格者数を商業科10名以上、普通科70名以上を目指す。            難関10大学及び国公立大学医学部医学科5名以上の合格者数をを目指す。            A:80人以上 B:79人～70人            C:69人～60人 D:59～50人            E:49人以下            難関大学合格を含め、総合的に判断する。</p>	A	12月末現在で、国公立大学の合格者数は、商業科12、普通科22、合計34であり、商業科は目標を達成している。	難関10大学及び国公立大学医学部医学科5名以上の合格を達成するためには、まずそのレベルを目指す生徒が10名程度はいることが望ましい。希望者を募り個別指導をすることも考える必要がある。
		<p>商業科生徒の卒業時における全商検定3種目以上1級取得者85%以上を目指す。            A:85%以上 B:84～80% C:79～75%            D:74～70% E:69%以下</p>	A	商業科卒業生76名中68名が3種目以上の1級に合格し、取得者89.5%に達した。	早い時期から多種目合格を目指す雰囲気を作るとともに、普段から授業改善に努め、今後も生徒たちの自主的な学習のサポートに取り組んでいきたい。
	就職指導の充実	<p>就職内定率100%を達成する。            A:100% B:99～95% C:94～90%            D:89～85% E:84%以下</p>	A	市内はほぼ9月中に、県外も1回目の受験で内定した。11月で希望者は内定100%となった。また、公務員希望3名も内定した。	現状は、生徒の希望が叶いやすくなっている。今後とも、ミスマッチを防ぎ、安心して働ける職場の確保に努めていきたい。
	進路情報提供の適切度	<p>生徒・保護者に対する適切な進路情報の提供及び保護者との連携への満足度90%以上を目指す。            A:90%以上 B:89～80% C:79～70%            D:69～60% E:59%以下</p>	C	進路情報の提供については、生徒80点、保護者70点であり、保護者との連携については生徒76点、保護者64点であった。	学校からの連絡プリントや進路情報誌の配布、およびホームページからの情報発信だけでなく、生徒や保護者の端末等に即座に情報を届けられるようなツールの活用を検討する。
家庭・地域連携	PTA活動の充実	<p>理事会・総会・研修会の活性化と参加率50%を目指す。            A:50%以上 B:49～45% C:44～40%            D:39～35% E:34%以下</p>	D	本年度から通常のPTA活動が可能になった。参加率については、総会(保護者懇談会も含む)17.9%、理事会等46.3%であり、平均39.0%であった。	共稼ぎの家庭が当たり前の時代において、学校行事等の参加は難しい。しかし、文化祭でのバザーでは多数の保護者からのサポートをいただき、大成功であった。保護者の本校に対しては協力的であるので、それを生かせる工夫を考えたい。
	学校評価の充実	<p>学校関係者評価委員会の活性化及び学校評価アンケートの各評価項目において生徒・保護者・教職員、いずれも90%を目指す。            A:90%以上 B:89～80% C:79～75%            D:74～60% E:59%以下</p>	C	学校評価アンケートの集計平均結果では、生徒76点(77.2点)、保護者72点(74.7点)、教職員79点(80点)であり、ほとんど昨年度と同様であった。※( )内は昨年度のデータ	学校評価アンケート集計平均結果は、生徒・保護者・教職員ともに70点以上で同レベルである。これは、3者ともに80点を突破できる可能性を示しているのではないかと。もう一息、学校と家庭の連携を密にして、生徒の成長をサポートしていきたい。
業務改善	適切な勤務時間	<p>教職員の勤務時間を守り、休憩時間を確保する。業務の効率化を図り、時間の有効活用を図る。</p>	C	教職員の勤務時間を考慮した時間の設定、周知に努めたが、業務の多様化により十分に成果があらなかった。	校務のデジタル化を進め、会議や事務作業を見直し、効率化と精選を図る。
	職場環境の整備	<p>健康保健室だよりや健康診断の結果から健康相談を定期的実施し、教職員の疲労や心理的な負担の軽減を図る。</p>	C	ストレスチェックの結果は昨年度とほぼ同様であり、全体として良好であった。	教職員間の円滑なコミュニケーションが図れるよう明るく和やかな職場環境を確立する。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。